

岩手県第一北上中部工業用水道事業の紹介

○事業の趣旨

本県では、県勢発展計画の一環として工業の振興による雇用機会の拡大と県民所得の増大を図るため、工業開発については、内陸型工業地帯を形成することによって全県に波及効果を及ぼすことを目指している。

本県の内陸工業地帯の一つである北上市を中心とした北上中部地区は、鉄道及び道路網の結節点であるほか、高速交通網の整備に伴い、都市化、工業化が進んでいる。

この地域の工業団地のうち、北上工業団地へ工業用水を供給するため計画され、昭和53年度から北上中部工業用水道として給水を開始したものである。

○事業の経緯

第一北上中部工業用水道は、北上工業団地内の立地企業へ工業用水を供給するため、20,000m³/日を北上川自流水（表流水）を水源とする施設（旧北上中部工業用水道）を建設して昭和53年5月から給水を開始している。また、更なる工水需要の増加に伴い、21,600m³/日を北上川水系稗貫川に建設された早池峰ダムを水源とする施設（旧第三北上中部工業用水道）を建設して平成4年4月に一部給水、平成15年1月に全部給水を開始している。

平成19年4月に、北上中部工業用水道と第三北上中部工業用水道の統合をし、第一北上中部工業用水道として、合わせて38,600m³/日の給水能力を有する。

また、半導体製造企業の進出に伴い、濁度等のより低い良質な処理水を企業から求められ、8,000m³/日のろ過水を同団地内の企業へ供給する北上ろ過施設を建設し、昭和59年7月から給水している。

○ユーザーの概要

（平成20年4月1日現在）

業種	給水件数	基本水量（m ³ /日）
金属製品製造	2	4,140
化学	2	4,700
電子部品・デバイス	1	13,950
プラスチック製品	1	280
紙加工製造	1	20
精密機械器具製造	2	880
一般機械器具製造	1	1,560
その他製造業	1	100
雑用水	1	100
合計	12	25,730

○工業用水道施設の概要

第一北上中部工業用水道は、一級河川北上川右岸に取水口を設け、取水ポンプで浄水敷地内へ導水している。凝集沈殿処理後は配水池に貯水し、配水ポンプで供給している。

また、処理水のうち最大8,000m³/日はろ過施設（北上ろ過施設）へ送水することができる。更に良質なろ過水として、砂ろ過処理後は配水池に貯水し、配水ポンプで供給している。

○事業の特徴

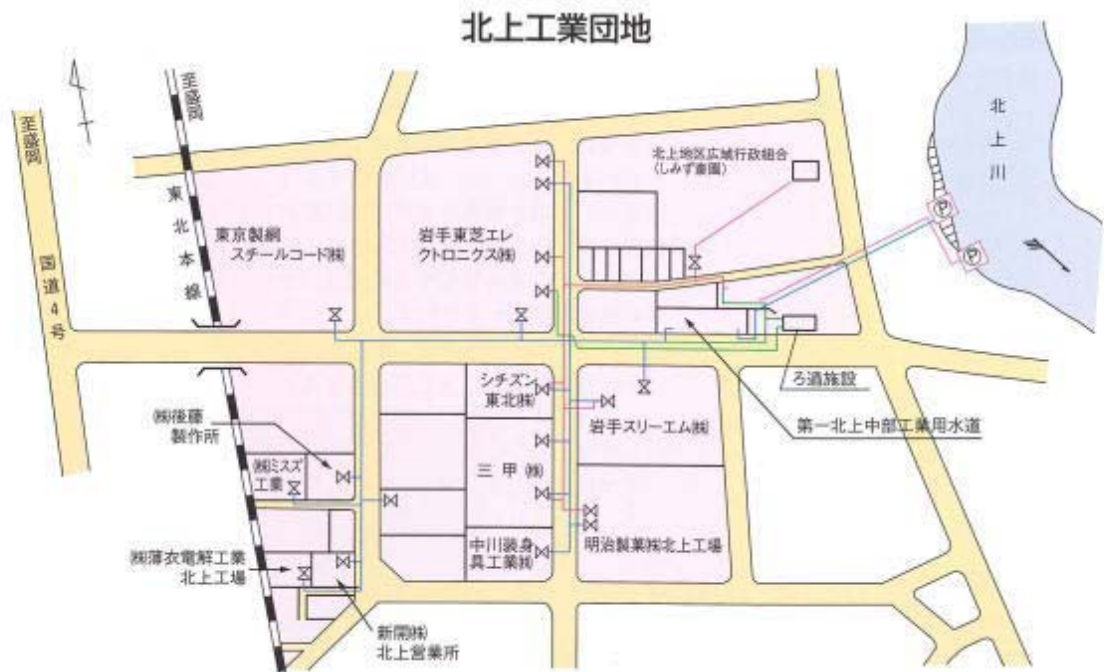
旧北上中部工業用水道は、効率的な施設運営を目指すために北上市上水道事業（取水量20,000m³/日）と共同施工したものであり、取水施設、導水施設、計装施設、管理棟などの一部を共用施設としている。

また、すべての施設（第一及び第二北上中部工業用水道）は、第一北上中部工業用水道敷地内の企業局県南施設管理所監視室にて集中監視制御を行っている。

○岩手県企業局のホームページアドレス

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=84&ik=3&pnp=17&pnp=84>

第一北上中部工業用水道管布設概要図



(第一北上中部工業用水道 取水口)